

大阪府版
依存症相談対応
人材養成テキスト
【ロールプレイ編】
〔講師用〕



Ver. 2

- 1 アルコール依存症本人編
アルコール依存症家族編
- 2 薬物依存症本人編
薬物依存症家族編
- 3 ギャンブル等依存症本人編
ギャンブル等依存症家族編
- まとめ

◇進め方のシナリオ

【時間配分】

- ◎導入 (2分)
- ◎シナリオロールプレイ・まとめ (20分/各依存症)
 - 本人編 ロールプレイ良い例 (4分) ⇒ 感想・振り返り (4分)
 - 家族編 ロールプレイ良い例 (4分) ⇒ 感想・振り返り (4分)
 - ロールプレイのまとめ (3分)

<導入>

(講師)

ここでは、テキストに沿ってロールプレイをしていきます。ロールプレイというのは、日本語では「役割演技」といい、現実にかかる場面を想定して、ある役割を演じることです。今日は依存症の本人もしくはその家族への支援場面から一部分を抜き出し、先ほどの『ね、こ、きょう、ひ、ま、な、い』を実際に使う練習をしていただきたいと思います。

2人でペアになり、事例の人物になって会話をさせていただきます。

(自己紹介していなければ自己紹介をする)

今日のロールプレイでは、テキストのセリフをそのままお話しください。

なお、右側に書かれているのは参考となるポイントです。先ほどの『ね、こ、きょう、ひ、ま、な、い』のポイントはねこのマークを記し、他のポイントは◎(二重丸)を記していますので、読みながら意識してみてくださいと思います。

また、ロールプレイはその場に座ったままで、お互いの方を向いて行ってください。状況を想像しながら進めてください。

それでは、〔アルコール依存症・薬物依存症・ギャンブル依存症の〕本人編と家族編のロールプレイを始めましょう。

- ◇アルコール依存症本人編・家族編 2ページ
- ◇薬物依存症本人編・家族編 11ページ
- ◇ギャンブル依存症本人編・家族編 19ページ
- ◇まとめ 27ページ

1-1 アルコール依存症本人編

★流れ

導入 ⇒ ロールプレイ（4分） ⇒ 感想・振り返り（4分）

<導入>

（講師）

では、アルコール依存症本人編の1ページをご覧ください。今から支援者の役と、きよしさんという男性の役をしていただきます。（受講者側から見て）右側の人はきよしさんの役、左側の人は支援者の役をお願いします。まず事例を読みます。

（事例を読む）

それでは、【この後の経過】の前まで、ロールプレイをしてみてください。支援者役の人は、相手に寄り添うように親身な話し方を心がけてください。きよしさん役の人は、少ししんどそうにお話してください。時間は4分です。では、始めてください。

<ロールプレイ>

【事例】

きよしさんはアルコール問題を抱えています。ある時生活費がなくなり、支援者であるあなたのもとへ相談に来られました。きよしさんは初めての相談です。電話で予約をしていましたが、詳しくはこれからです。あなたはどのように話を聞いたらいいでしょうか。

支援者：きよしさん、こんにちは。よく来てくださいましたね。
今日は、相談があるということですが、どうされましたか。

 ねぎらう
 まず、
じっくり話を聴く

きよし：あの一、あまり、他の人には知られたくないんですけど、大丈夫ですか？

支援者：はい。きよしさんの相談を他の人に話したりしませんよ。秘密は守りますので、安心してくださいね。

 秘密は守ると約束する

きよし：それを聞いて安心しました。恥ずかしい話なんですけど、生活費がなくなってしまって、これからどうやって生活していけばいいか、悩んでいるんです。年金が入るまであと半月もあるのに。どうしたらいいでしょうか？

支援者：生活費がなくて、お困りなんですね。話してくださって、ありがとうございます。一緒に考えましょう。
もう少し詳しく聞かせてくれませんか。

 ねぎらう
 一緒に考える
 まず、
じっくり話を聴く

きよし：はい。今は年金生活なんです。前は貯金もあったんですが、外食が増えて、いつの間にか貯金もなくなってしまって。

<p>支援者：よく外食されるんですね。外食が増えたのは、どうしてですか。</p>	 まず、じっくり話を聴く
<p>きよし：3年前に妻に先立たれてから、独りで家にいてもやることはない。寂しさもあって、毎日のように飲み歩いてるんです。気は紛れるけど、今度は生活が苦しくて…。</p>	
<p>支援者：奥さんを亡くされてお独りで大変でしたね。寂しさを紛らわせるためにお酒を飲んでいたんですね。そのせいで貯金まで使ってしまったって、困っておられるんですね。</p>	 共感する  肯定する
<p>きよし：そうなんです。節約のためにもお酒を控えないとだめだとは思ってるんだけど…。こんな状況でもお酒を飲んでしまう自分があるんです。貯金もどんどん減って。これ以上手をつけたらだめだとわかっていても、いつもお酒のことばかり考えていて、気付いたら飲みに行ってるんです。自分でも、どうしたらいいか、わからないんです。</p>	
<p>支援者：お酒を控えないといけないとは思っているけど、どうしたらいいのかわからず困っておられるんですね。 わかりました。まず、当面の生活費の問題について、社会福祉協議会へ相談に行きましょう。あそこなら、いろいろな情報もありますし、今からでも一緒に行きませんか。</p>	◎ 要約する ◎ 情報提供 ◎ つなぐ
<p>きよし：はい。よろしくお願いします。生活費を助けてもらえるなら、もう大丈夫な気がします。</p>	
<p>支援者：生活費だけではなくて、原因となっているお酒の飲み方の問題についてですが、保健所で相談にのってもらえるんですが、ご存知ですか。</p>	◎ 情報提供
<p>きよし：お酒の飲み方の相談なんかできるんですか。知りませんでした。</p>	
<p>支援者：お酒の飲み方のことで悩んだり、いろんな問題を抱えて悩んでいる人が、どうすればいいか相談にのってもらえるんです。</p>	
<p>きよし：お酒をやめろって言われないですかね？</p>	

<感想・振り返り>

(講師)

では、何人かの方に感想を聞いてみたいと思います。

まず、支援者役をされた方から、お聞きしたいと思います。どうでしたか？

(感想を聞く)

ありがとうございます。

きよしさん役の方からも感想をお聞きしたいと思います。

(感想を聞く)

ありがとうございました。では、少し解説をします。

<解説>

(講師)

お酒の飲みすぎで、生活費がなくなるというのは、きよしさんでなくとも、とても恥ずかしいと感じる方も多いでしょう。そんな中、相談しようと動いたことは、きちんと言葉で「ね」ねぎらいましょう。

生活費だけを解決すれば、もう大丈夫と思いがちですが、じっくり話を聞いたことで、お酒の問題があることがわかりました。

きよしさんは、生活費がなんとかなれば大丈夫と話したり、お酒をやめろと言われるのを気にしているようでした。この状態で、保健所に1人で相談に行くよう伝えても、そのまま行かない可能性もあります。

一緒に行くだけで、最初の大きな壁は取り払うことができます。今日の日をチャンスと考え、相談をつないでいきましょう。

きよしさんは、奥さんを亡くされて孤独な状態にあったかもしれません。支援者が長く関わることで、孤独をお酒で紛らわせないような生活を目指しましょう。

では、次はアルコール依存症家族編に進みましょう。

1-2 アルコール依存症家族編

★流れ

導入 ⇒ ロールプレイ（4分） ⇒ 感想・振り返り（4分）

<導入>

（講師）

では、アルコール依存症家族編をやってみましょう。4ページをご覧ください。次は支援者の役と、さつきさんという女性の役をしていただきます。（受講者側から見て）右側の人は支援者役、左側の人はさつきさんの役をお願いします。まず事例を読みます。

（事例を読む）

それでは、【この後の経過】の前まで、ロールプレイをやってみてください。支援者役の人は、相手に寄り添うように親身な話し方を心がけてください。さつきさん役の人は、少ししんどそうにお話してください。4分間時間をとります。では、始めてください。

<ロールプレイ>

【事例】

さつきさんの夫（つよし）にはアルコールの問題があり、昼間から飲み、大きな声を出しています。さつきさんが飲酒について注意すると、物を投げたり、壁を殴ることもあります。そんなさつきさんが支援者であるあなたのところに相談に来たら、どのように話を聞いたらいいでしょうか。

支援者：さつきさん、なんだか元気がないように見えますが、どうかされましたか。



まず、
じっくり話を聴く

さつき：う～ん…。

支援者：よければ話を聞かせてもらえませんか？お話しいただいたことは、さつきさんの相談は、誰かに話したりしませんので、安心してください。



秘密は守ると約束
する

さつき：実は…、夫が、お酒を飲むと手がつけられなくなって、大変なんです…。

支援者：そうなんです。ご主人さんのことで大変な状況なんですね。話しにくいことを話して下さってありがとうございます。手がつけられなくなるということですが、もう少し詳しく聞かせてもらえますか。



ねぎらう



まず、
じっくり話を聴く

さつき：すごい量を飲むんです。途中でやめるように言うんですけど、

そうすると物を投げたり、大きな声を出したりするんです。

支援者：それで元気がなかったんですね。さつきさんがケガをするようなことはありませんでしたか。



まず、
じっくり話を聴く

さつき：そこまではいってないんですけど、すごまれたりするので、怖いです…。だから、飲ませた方がいいかな、ってなってしまうんです。

支援者：そんな大変な思いをされて、つらかったですね。そういうふう
に思うのは、当然のことだと思います。
そういうお酒の問題はいつ頃からあったんですか。



共感する



肯定する



まず、
じっくり話を聴く

さつき：もともとお酒が好きでよく飲む方だったんですが、一年ぐら
い前にリストラされてから、さらに量が増えて…。毎日、昼間
から飲むようになったんです。

支援者：毎日昼間からかなりの量を飲まれているんですね。つよし
さんのお酒の問題についてどこかに相談されたことはありませ
るか。

さつき：いいえ、相談したことはありません。
リストラされて飲まずにはいられない夫の気持ちも分かるん
ですが、いつまでもお酒ばかり飲んでどうしようもないの
は、あの人の性格の問題だから、相談してもどうにもならな
いと思ったりして…。

支援者：相談してもどうにもならないと思って、一人で抱えていたん
ですね。さつきさん、今まで一人でよくがんばってこられましたね。今日はお話してくださり、ありがとうございます。
お話をお聞きしていると、ご主人さんはお酒の飲み方を自分
でコントロールできない状態になっているのかもしれない
んです。



ねぎらう

◎ 情報提供

さつき：好きで飲んでいるように見えるんですが…。

支援者：確かに、ご家族からすると、そういうふうに見えますよね。実
は、アルコール依存症という、お酒をやめようと思ってもや
められない、コントロールできない病気があるんです。依存

◎ 情報提供

<p>症は、治療を受けたり、相談したりする中で、時間はかかるかもしれませんが、回復することができる病気とされています。</p> <p>ご主人さんのお酒の問題について、依存症かどうかということも含めて、一度、保健所に相談してみませんか。</p> <p>さつき：そんなところがあるんですか？でも、夫は自分には関係ないと言って、行かないと思います。</p> <p>支援者：そうですね。ご本人が最初から相談に行くことは少ないみたいで、ご家族だけで相談することもできるんですよ。</p> <p>さつき：そうなんですか？夫の身体も心配だし、お酒はやめてほしいんです。それに、今は私のパート代と、貯金を切り崩してなんとか生活していますが、早く働いてほしいんです。</p> <p>支援者：ご主人さんの身体や、生活のことも心配ですよ。保健所では、必要であれば専門の医療機関の情報も教えてもらえるそうです。一緒に相談に行ってみませんか。</p> <p>さつき：夫のお酒の問題が何とかなるなら…。</p>	<p>◎ つなぐ</p> <p>◎ 情報提供</p> <p> 共感する</p> <p>◎ 情報提供</p> <p>◎ つなぐ</p> <p> 一緒に考える</p>
<p>支援者はさつきさんの都合のいい日を聞き、保健所に電話をして相談の予約を入れました。</p>	
<p>支援者：それでは、〇日に保健所の入り口で待ち合わせにしましょう。その間、暴力があれば警察を呼ぶなどして、暴力を受けないようにしてください。アルコールが入っているときの説得は全く効き目がありませんので、その時は逃げてください。</p> <p>さつき：わかりました。よろしくお願いします。</p>	<p> 長く関わる</p> <p>◎ 情報提供</p>

<この後の経過の紹介>

(講師)
 時間になったので、終了してください。では、この後のさつきさんの経過を紹介します。
 (【この後の経過】を読む)

【この後の経過】

後日、さつきさんは支援者と一緒に、夫のお酒の問題について保健所へ相談に行ったところ、夫を医療機関受診へつなげるために保健所で継続して相談することになりました。また、さつきさんはアルコール依存症の家族の自助グループについて保健所で教えてもらい、見学することになりました。支援者もさつきさんと連絡を取り合い、声をかけ、保健所での相談内容や、夫との関係性などについて一緒に考え、長く関わり続けています。

<感想・まとめ>

(講師)

では、何人かの方に感想を聞いてみたいと思います。

まず、支援者役をされた方から、お聞きしたいと思います。どうでしたか？

(感想を聞く)

ありがとうございます。

さつきさん役の方からも感想をお聞きしたいと思います。

(感想を聞く)

ありがとうございました。では、少し解説をします。

<解説>

(講師)

夫が暴力をふるうことを人に相談するまでに、さつきさんはたくさん悩んだことが予想されます。相談してもどうにもならない、という思いは、依存症のご家族がよくお話されます。そんな中、さつきさんが相談しようと動いたことは、きちんと言葉で「ね」ねぎらい、「ひ」秘密は守ると約束しましょう。

暴れないようにお酒を飲ませていた、とさつきさんは話していますが、すぐにそれを注意するのではなく、「そんな大変な思いをされて、つらかったですね。そういうふうにするのは、当然のことだと思います。」と「き」共感したことで、さつきさんは話をしても否定されない、と安心して話をすることができました。

今回のような暴力などがある場合は、対処方法について伝えます。状況によっては避難することも考え、他機関へ連絡する必要もあります。

夫のことを誰にも相談できず、さつきさんは疲れ切っていたかもしれません。家族が元気になれば、本人支援の糸口が見えてくることもあります。声をかけ、見守りを続けて、家族を支えていきましょう。

<解説 つづき>

別のロールプレイをする場合

では、次のロールプレイに進みましょう。

ロールプレイを終了し、まとめをする場合

では、最後にロールプレイのまとめをします。7ページをご覧ください。(講師用26ページ)

ロールプレイのまとめをしない場合

本日の内容全てをみなさんの相談場面で実践して頂くのは難しいかもしれませんが、できるところから実践して頂けたらと思います。

これでロールプレイを終わります。ありがとうございました。

2-1 薬物依存症本人編

★流れ

導入 ⇒ ロールプレイ（4分） ⇒ 感想・振り返り（4分）

<導入>

（講師）

では、薬物依存症編の1ページをご覧ください。今から支援者の役と、つとむさんという男性の役をしていただきます。（受講者側から見て）右側の人は支援者役、左側の人はつとむさんの役をお願いします。まず事例を読みます。

（事例を読む）

それでは、【この後の経過】の前まで、ロールプレイをやってみてください。支援者役の人は、相手に寄り添うように親身な話し方を心がけてください。つとむさん役の人は、少ししんどそうにお話してください。

<ロールプレイ>

【事例】

つとむさんは、覚せい剤所持で逮捕されたことがあり、それがきっかけで支援者であるあなたとつながりました。最近、つとむさんは元気がありません。あなたはつとむさんに来てもらい、話をきいてみることにしました。あなたはどのように話を聞いたらいいでしょうか。

支援者：つとむさん、なんだか元気がないように思いますが、どうかされましたか。

つとむ：え？…別に。何も…。

支援者：もし、困っていることがあるなら、お話を聞かせていただけませんか。私も一緒に考えたり、つとむさんの力になりたいと思っています。もちろん、つとむさんのお話は誰かに話したりはしませんから安心してください。



一緒に考える

秘密は守ると約束する

つとむ：…なんか、イライラするっていうか…。

支援者：イライラしてるんですね。どんな時にイライラしますか。

つとむ：うーん…、疲れた時とか…、家族と話してて、むかついた時とか…。

支援者：そうなんですね。そのイライラがある時って、つとむさんはどうしてるんですか。



まず、
じっくり話を聴く

つとむ：…どうしようもないっていうか、部屋で一人になって、耐えるしかない…。

支援者：イライラを耐えるのはしんどいですよね。

 共感する

つとむ：しんどい…。正直言って、昔みたいにクスリを使ったら楽だろうなって思う。ダメってわかってるし、クスリを使っていた自分には戻りたくないけど…、一人でじっとしていると、クスリのことばかり考えてしまう…。

支援者：昔の自分には戻りたくないけど、クスリのことばかり考えてしまうんですね。よく話してくださいましたね。

 肯定する
 ねぎらう

つとむ：…やめるって親とも約束したし、自分もやりたくないけど、クスリのこと頭から離れない。

支援者：やりたくないのに、頭から離れないのは辛いですね。

 共感する

つとむ：家族にはこんなこと言えないけど、本当は自分の中に、やりたくない気持ちと、やりたい気持ちのどっちもある。もう、自分が嫌になる。

支援者：やりたくない気持ちと、やりたい気持ちのどちらもあるんですね。どちらの気持ちもあって、誰にも話せないと、しんどいですよね。

 肯定する
 共感する

つとむ：クスリを使ったら、もうやめられないんですかね？

支援者：時間はかかるかもしれませんが、治療や相談を受ける中で、やめ続けることはできると言われていますよ。クスリをやりたくない気持ちと、やりたい気持ちの中でしんどい思いをされていることについて、保健所で相談にのってもらえると思うので、よければ一度、相談に行ってみませんか。

◎ 情報提供

つとむ：いや…、うまく話せるか…。

支援者：そうですね。もしよければ、今日お話いただいたことや依存症について相談をしてみたいということで、私から保健所に連絡してみましましょうか？保健所でも、秘密をきちんと守ってくれますよ。一人で行くのも不安だと思いますので、私も一緒

◎ つなぐ
 秘密は守ると約束する

<p>に保健所へ行くこともできますが、いかがですか。</p> <p>つとむ：一緒に行ってもらえるなら、安心かもしれない。じゃあ、お願いします。</p> <p>支援者はつとむさんの都合のいい日を聞き、保健所に電話をして相談の予約を入れました。</p> <p>支援者：それでは、〇日に保健所の入り口で待ち合わせにしましょう。それまでに何かあれば、連絡してくださいね。</p>	<p> 一緒に考える</p> <p> 長く関わる</p>
---	--

<この後の経過の紹介>

(講師)
 時間になったので、終了してください。では、つとむさんのこの後の経過を紹介します。
 (【この後の経過】を読む)

【この後の経過】

つとむさんと支援者は保健所に相談へ行ったら、今後継続して、覚せい剤の問題について相談することとなりました。また、自助グループを紹介してもらい、通ってみることにしました。支援者も引き続き、つとむさんを見守り、保健所での相談内容や、自助グループで感じたことなどについて一緒に考え、長く関わり続けています。

<感想・振り返り>

(講師)
 では、何人かの方に感想を聞いてみたいと思います。
 まず、支援者役をされた方から、お聞きします。どうでしたか？
 (感想を聞く)
 ありがとうございます。
 つとむさん役の方からも感想を聞きたいと思います。
 (感想を聞く)
 ありがとうございました。では、少し解説をします。

<解説>

(講師)

薬物依存症の方が、再使用したい気持ちを相談するのは勇気のいることです。そのため、「ひ」秘密を守ることを約束してください。

「ひ」秘密を守ることを約束し、「ま」まずはじっくり話を聞いたことで、クスリをやりたい気持ちとやめたい気持ちで揺れ動いていることを話してくれました。

また、つとむさんは自分ではうまく説明できないことから、他機関での相談に消極的でした。

一緒に行くだけで、最初の大きな壁は取り払うことができます。今日の日をチャンスと考え、相談をつないでいきましょう。

つとむさんは、家族にも相談できず、1人で悩んでいました。支援者が長く関わることで、今回のように、クスリを使用するまでに相談ができることを目指しましょう。

では、次は薬物依存症家族編に進みましょう。

2-2 薬物依存症家族編

★流れ

導入 ⇒ ロールプレイ（4分） ⇒ 感想・振り返り（4分）

<導入>

（講師）

では、薬物依存症家族編です。4ページをご覧ください。今から支援者の役と、みどりさんという女性の役をしていただきます。（受講者側から見て）右側の人はみどりさん役、左側の人は支援者の役でお願いします。まず事例を読みます。

（事例を読む）

それでは、【この後の経過】の前まで、ロールプレイをしてみてください。支援者役の人は、相手に寄り添うように親身な話し方を心がけてください。みどりさん役の人は、少ししんどそうにお話してください。

<ロールプレイ>

【事例】

みどりさんは、今後の生活について不安に思っています。どこに相談に行けばいいのかわからず、遠慮がちに電話で予約をとられました。初めての相談で、電話では詳しい話を聞いていません。そんなみどりさんが支援者であるあなたの目の前に相談に来たら、どのように話を聞いたらいでしょうか。

みどり：あの…、生活のことについて相談したいんですが、どこに相談したらいいかわからなくて…。

支援者：こんにちは。よく来てくださいましたね。生活のことといたしますと、どのようなことでしょうか。



ねぎらう

まず、
じっくり話を聴く

みどり：娘と同居しているんですが、娘が仕事を辞めてしまって。私もパートで働いてはいるんですが、生活に困っているんです。

支援者：そうなんですね。今はどのように生活されていますか。



まず、
じっくり話を聴く

みどり：私のパート代と、貯金を切り崩してなんとか…。

支援者：なんとかやりくりされているんですね。娘さんは、仕事を辞めてから家で過ごされているんですか。

みどり：…はい、まあ…。ちょっといろいろありまして…。

支援者：よければ詳しく話を聞かせてもらえませんか？ここでお聞きしたことは、誰かに話したりしませんので、安心してください。

 秘密は守ると約束する

みどり：…実は、今、娘は刑務所にいるんです。覚せい剤で捕まってしまって…。捕まるのは2回目なんですけど、もうすぐ出所なので、娘の分も生活費が必要で…。

支援者：そうなんですね。娘さんのことで大変だったんですね。覚せい剤の使用はいつ頃からでしょうか。

 肯定する
 まず、じっくり話を聴く

みどり：たぶん、10年くらい前からだと思います…。…でも、私もだめなんです。よくお金を貸してほしいと言われて、断ると暴れて部屋の中をぐちゃぐちゃにするので、怖くてお金を渡していたんです…。それで、覚せい剤を買っていたんだと思います。恥ずかしい話です…。

支援者：それはずいぶんつらい思いをされていたんですね。みどりさんがケガをするようなことはありませんでしたか。

 まず、じっくり話を聴く

みどり：怖い思いはしましたが、私に暴力はなかったです。私も悪いですし…。机の上の物を全部落したり、お皿を割ったりするので、またそんなことをすると、お金がかかるのでつらいんです。

支援者：それだけでも怖いですよ。そういうふうにされると、怖くてお金を渡してしまうのは、仕方がないことだと思いますよ。娘さんのことについて、どこかに相談されたことはありますか。

 共感する
お金を渡したことを咎めるのではなく、怖い思いをしたことに共感しましょう。

みどり：いえ、こんなこと誰にも話できないし…。どこに相談したらいいかわからなくて…。一度捕まったらさすがにもう薬はやめようって思ったんですけど、やめなかったんです。だから今回もやめられないと思うんです。もう生活が苦しくて、娘が出所して家に帰ってきたら、どうしたらいいかわからなくて…。

支援者：娘さんが家に帰ってきたら、どうすればいいかわからなくて、今日来てくださったんですね。話していただきありがとうございます。薬物の問題について、保健所で相談できることはご存知ですか？本人だけでなく、家族だけでも相談できるんですよ。

 ねぎらう
◎ 情報提供

みどり：そうなんですか？覚せい剤のどんなことを相談できるのでしょうか？やめさせてくれるのですか？

<感想・振り返り>

(講師)

では、何人かの方に感想を聞いてみたいと思います。

まず、支援者役をされた方から、お聞きします。どうでしたか？

(感想を聞く)

ありがとうございます。

みどりさん役の方からも感想を聞きたいと思います。

(感想を聞く)

ありがとうございました。では、少し解説をします。

<解説>

(講師)

薬物相談の場合、捕まるのではないかという不安を本人も家族も感じています。今回はすでに捕まっていますが、それでも人に相談することは勇気のいることです。そういった不安の中、相談に来てくれたことに、「ね」ねぎらいの言葉を伝えることで、相談しやすくなります。

支援者が「ま」まずはじっくりと話を聴き、「ひ」秘密を守ると約束したことで、娘さんの覚せい剤の話と暴力の話が出てきました。

みどりさんへの暴力はなさそうでしたが、今後問題をそのままにしておくと、エスカレートする可能性もあります。もし今、暴力などがある場合は、対処方法について伝えます。状況によっては避難することも考え、他機関へ連絡する必要もあります。

娘のことを誰にも相談できず、みどりさんは疲れ切っていたかもしれません。家族が元気になれば、本人支援の糸口が見えてくることもあります。声をかけ、見守りを続けて、家族を支えていきましょう。

別のロールプレイをする場合

では、次のロールプレイに進みましょう。

ロールプレイを終了し、まとめをする場合

では、最後にロールプレイのまとめをします。7ページをご覧ください。(講師用26ページ)

ロールプレイのまとめをしない場合

本日の内容全てをみなさんの相談場面で実践して頂くのは難しいかもしれませんが、できるところから実践して頂けたらと思います。

これでロールプレイを終わります。ありがとうございました。

3-1 ギャンブル等依存症本人編

★流れ

導入 ⇒ ロールプレイ（4分） ⇒ 感想・振り返り（4分）

<導入>

（講師）

では、ギャンブル等依存症編の1ページをご覧ください。今から支援者の役と、さとしさんという男性の役をしていただきます。（受講者側から見て）右側の人は支援者役、左側の人はさとしさんの役をお願いします。まず事例を読みます。

（事例を読む）

それでは、【この後の経過】の前まで、ロールプレイをやってみてください。支援者役の人は、相手に寄り添うように親身な話し方を心がけてください。さとしさん役の人は、少ししんどそうにお話してください。時間は4分です。では、始めてください。

<ロールプレイ>

【事例】

さとしさんは借金の相談があると、あなたのところにやってきました。人目が気になるようで、個室での相談を希望しました。そんなさとしさんが支援者であるあなたの目の前に相談に来たら、どのように話を聞いたらいいでしょうか。

支援者：こんにちは。今日はどうされましたか。

さとし：借金のことで相談があるのですが、どこかに話が漏れることはないでしょうか？

支援者：借金についてのご相談ですね。お話しいただいたことは、誰かにお話しすることはありませんので、どうぞ安心してお話しくださいね。

借金ということですが、詳しく聞かせてもらえますか。

さとし：はい。実は…、金融機関に500万円の借金があるんです。妻は知りません。自分で何とかしないといけないと思っているのですが、どうすればいいかわからなくて…。

支援者：500万円の借金をご自身で何とかしようと悩んでおられるんですね。奥さんはご存知ないとのことですが…。

さとし：はい。実は借金の理由が競馬なんです。妻にバレる前に借金を返そうと思って、今度こそと競馬をするんですけど、だんだん勝てなくなってきました…。

 秘密は守ると約束する

 まず、じっくり話を聴く

 まず、じっくり話を聴く

支援者：奥さんにバレないように借金を返そうと思ってるんですね。大変な状況をお話ししてくださってありがとうございます。借金の理由が競馬ということですが、もう少し詳しくお聞きしてもいいですか。競馬はいつ頃から始められたのですか。

ねぎらう
まず、
じっくり話を聴く

さとし：はい…。競馬は就職してから同僚に誘われて行き始めたんです。妻から月々の小遣いはもらっていましたが、最初はその範囲で趣味程度にしていました。でも数年前から、小遣いの範囲を超えてまでするようになってしまって…。子どもの学資保険にまで手をつけてしまったんです。

支援者：なるほど。はじめは問題なかったけれども、徐々に小遣いの範囲を超えてしまうようになったんですね。

さとし：はい。当然妻にはひどく怒られました。それからは小遣い制ではなく、妻に言って必要な分だけもらう形になっています。

支援者：そうなんですね。奥さんも心配してそのような方法をとられたんですね。それからはどうされましたか。

まず、
じっくり話を聴く

さとし：競馬はやめるつもりだったんです。でも、せめて学資保険の穴だけは埋めようと思って競馬をするんですが、勝てなくて…。

支援者：やめるつもりだったのにやめられず、奥さんにも相談できず、一人で抱えられていて、つらかったですね。

共感する

さとし：もうどうしたらいいのかわからなくなってしまって。

支援者：お話ししてくださって、ありがとうございます。これからのことについて、一緒に考えていきましょう。

ねぎらう
一緒に考える

さとし：ありがとうございます。でも、どうしたらいいんでしょうか。

支援者：借金の相談については、専門の相談窓口があります。そこに相談して、まずは何からすればいいのか聞きましょう。競馬をやめたいのにやめられないということについては、保健所で相談ができます。一度相談に行ってみませんか。もちろんそこでも秘密は守られますよ。

◎ 情報提供

◎ つなぐ

秘密を守ると約束する

<p>さとし：そうなんですか…。一人でいきなり相談に行っても大丈夫なのでしょうか？</p>	
<p>支援者：はい。予約をすればお一人でも大丈夫ですし、もしよければ、私も一緒に相談に行くことができますよ。</p>	<p> 一緒に考える</p>
<p>さとし：最初は一緒に行ってもらえる方が、心強いですね…。お願いしてもいいですか？</p>	
<p>支援者：わかりました。それでは、私から相談の予約を取りますね。</p>	<p>◎ つなぐ</p>
<p>さとし：はい。お願いします。</p>	
<p>支援者はさとしさんの都合のいい日を聞き、保健所に電話をして相談の予約を入れました。</p>	
<p>支援者：それでは、○日に保健所の入り口で待ち合わせにしましょう。借金の相談についても、これから連絡をしますので、相談してみましよう。</p>	<p> 長く関わる  一緒に考える</p>
<p>さとし：わかりました。よろしくお願いします。</p>	

<この後の経過の紹介>

(講師)
 時間になったので、終了してください。では、この後のさとしさんの経過を紹介します。
 (【この後の経過】を読む)

【この後の経過】

支援者から借金の相談窓口連絡し、必要事項を聞き、さとしさんが希望したため窓口相談の予約を行いました。また後日、さとしさんは支援者と一緒に、ギャンブルの問題について保健所へ相談に行き、今後も保健所で継続相談をすることになりました。また、自助グループを紹介してもらい、見学することになりました。支援者も引き続き、さとしさんと連絡を取り合い、声をかけ、保健所での相談内容や、借金の状況を聞きながら、長く関わり続けています。

<感想・振り返り>

(講師)

では、何人かの方に感想を聞いてみたいと思います。

まず、支援者役をされた方から、お聞きします。どうでしたか？

(感想を聞く)

ありがとうございます。

さとしさん役の方からも感想を聞きたいと思います。

(感想を聞く)

ありがとうございました。では、少し解説をします。

<解説>

(講師)

家族に隠して借金をしているため、さとしさんは1人で問題を抱えていました。まだ家族に知られたくないと思う中、相談しようと思ったことは、きちんと言葉で「ね」ねぎらい、「ひ」秘密を守ると約束しましょう。

さとしさんの相談は借金についてでしたが、「ま」まずは、じっくり話を聴いたことで、ギャンブルの問題があることがわかりました。目の前の借金問題が大きくて、ギャンブル等の問題が隠れている可能性があります。

借金相談や保健所への相談は、一緒に行くだけで、最初の大きな壁は取り払うことができます。今日の日をチャンスと考え、相談をつないでいきましょう。

さとしさんは、家族にも相談できず、1人で悩んでいました。支援者が様子を聞くなどして、長く関わることで、1人で抱えず、今後も相談していくことを目指しましょう。

では、次はギャンブル等依存症家族編に進みましょう。

3-2 ギャンブル等依存症家族編

★流れ

導入 ⇒ ロールプレイ（4分） ⇒ 感想・振り返り（4分）

<導入>

（講師）

では、ギャンブル等依存症家族編です。4ページをご覧ください。今から支援者の役と、やすこさんという女性の役をしていただきます。（受講者側から見て）右側の人はやすこさんの役、左側の人は支援者の役でお願いします。まず事例を読みます。

（事例を読む）

それでは、【この後の経過】の前まで、ロールプレイをしてみてください。支援者役の人は、相手に寄り添うように親身な話し方を心がけてください。やすこさん役の人は、少ししんどそうにお話してください。時間は4分です。では、始めてください。

<ロールプレイ>

【事例】

やすこさんの息子は会社員として勤めていますが、収入以上の金額をギャンブルに費やし、消費者金融から借金したこともあります。あなたとやすこさんは、前に借金の相談で話したことがあります。息子さんのギャンブルについては聞いたことがありませんでした。やすこさんが支援者であるあなたのところに再び相談に来たら、どのように話を聞いたらいでしょうか。

支援者：やすこさん、こんにちは。今日はどうされましたか。

やすこ：実は、ちょっと話しにくいことなのですが、また借金のこと
で相談が…。

支援者：借金についてのご相談ですね。よく来てくださいましたね。
前にもお話しいただきましたが、借金についてお話してもら
ってもいいですか。今回も、お話しいただいたことは、誰かに
お話することはありませんので、安心してください。

やすこ：はい。実は…借金というのは、息子の借金でして…。前にも
相談窓口を覚えてもらったんですが、結局は私が肩代わりを
していました。何度も繰り返すので、私の貯金も底をつきそう
で…。

支援者：今までご自身でなんとか解決しようとされてきたんですね。大
変でしたね。
いくらくらいの借金ですか。それと、息子さんが借金するの
は、何か理由があるんですか。

 ねぎらう
 まず、
じっくり話を聴く
 秘密を守ると約束
する

 ねぎらう
 まず、
じっくり話を聴く

<p>やすこ：恥ずかしい話なのですが、パチンコなんです。300 万くらいでしょうか。</p>	
<p>支援者：そうなんです。息子さんは、いつ頃からパチンコを始めたんでしょうか。</p>	<p> まず、じっくり話を聴く</p>
<p>やすこ：大学生の頃からバイト代をパチンコに使ってたみたいです。社会人になってからは、つぎこむお金も大きくなったようで…。もう社会人ですから、小遣いの範囲内なら、親は口を出さないでおこうと思っていたら、こんなことになってしまって。</p>	
<p>支援者：口を出さないようにしておられたんですね。</p>	<p> 肯定する</p>
<p>やすこ：はい…。でもやっぱり心配で、給料から決まった額を貯金させたりしてたんですが、口座からこっそり引き出していたんです。叱ったりもしたんですが、「僕の給料だから何に使おうが勝手だろ」って逆切れされて…。</p>	
<p>支援者：息子さんのために、いろいろ考えて取り組んでおられたんですね。</p>	<p> 肯定する</p>
<p>やすこ：ええ…。でも、貯金が底を尽いたら、知らない間に消費者金融で借金してたみたいで。好き勝手ばかりして…私の育て方が甘かったんです。本当に情けない話です。</p>	
<p>支援者：自分を責めておられるんですね…。そんなふうに思うと、つらいですね。話してくださって、ありがとうございます。</p>	<p> 共感する  ねぎらう</p>
<p>やすこ：いえ…。正直なところ、またパチンコで借金をするんじゃないかと不安なんです。息子にどう接したらいいんでしょう…。</p>	
<p>支援者：やすこさん、息子さんは、自分でコントロールすることが難しくなっているのかもしれませんが、これは、息子さんの意志が弱いからということではありません。</p>	<p>◎ 情報提供</p>
<p>やすこ：そうなんですか。</p>	
<p>支援者：息子さんのパチンコについて、どのように理解したらいいか、家族としてどう接したらよいか、ということについては、保健所で相談できますよ。やすこさんだけでも相談に行くことで、</p>	<p>◎ 情報提供</p>

<p>役に立つ情報が得られるかもしれませんが。もちろんそこでも秘密は守られますから、安心して相談できますよ。</p>	 秘密を守ると約束する
<p>やすこ：そうなんですか…。でも借金の問題をなんとかしないと…。そっちが終わってからもいいでしょうか？</p>	
<p>支援者：そうですね、借金の問題も急ぎますね。この前お伝えした借金の相談窓口と一緒に行的ってみませんか。</p>	 つなぐ
<p>やすこ：そうですね…。お願いしてもいいですか？</p>	
<p>支援者：わかりました。それと、借金問題が解決しても、またパチンコに行くと借金をつくってしまう可能性があります。忙しいですが、保健所への相談も早めに行った方がいいですよ。保健所へも、私も一緒に行的行って考えますので。</p>	 一緒に考える
<p>やすこ：そうですか。ではお願いします。</p>	
<p>支援者：では私から相談の予約を取りますね。</p>	 つなぐ
<p>支援者はやすこさんの都合のいい日を聞き、借金相談と保健所に電話をして相談の予約を入れました。</p>	
<p>支援者：それでは、○日は借金相談の窓口、●日は保健所の入り口で待ち合わせにしましょう。 ○日までに借金の督促があっても、肩代わりしないようにしてくださいね。 それ以外にも何かあれば、また連絡してくださいね。</p>	 長く関わる
<p>やすこ：わかりました。よろしくお願いします。</p>	

<この後の経過の紹介>

(講師)
 時間になったので、終了してください。では、この後のやすこさんの経過を紹介します。
 (【この後の経過】を読む)

【この後の経過】

やすこさんと支援者は、借金の相談窓口から借金整理の方法や今後の対応について話を聞き、少しこころの余裕ができました。保健所では家族としてどう対応していくかについて、相談員や嘱託医と相談し、今後も保健所で継続相談をすることになりました。また、保健所でギャンブル等依存症の家族の自助グループについて教えてもらい、見学に行くことになりました。支援者も引き続き、やすこさんと連絡を取り合い、声をかけ、保健所での相談内容や、借金の状況などを聞きながら、長く関わり続けています。

<感想・振り返り>

(講師)

では、何人かの方に感想を聞いてみたいと思います。

まず、支援者役をされた方から、お聞きします。どうでしたか？

(感想を聞く)

ありがとうございます。

さとしさん役の方からも感想を聞きたいと思います。

(感想を聞く)

ありがとうございました。では、少し解説をします。

<解説>

(講師)

やすこさんは、前にも相談に来たにも関わらず、また借金の相談に来られました。そういった状況であっても、「ね」ねぎらいの言葉を伝えましょう。

借金の肩代わりをしていた、とやすこさんは話していますが、すぐにそれを注意するのではなく、「今までご自身でなんとか解決しようとされてきたんですね。大変でしたね。」と「ね」ねぎらったことで、やすこさんは話をしても否定されない、と安心して話をすることができました

ギャンブル等依存症が疑われる場合は、借金を返すために、ギャンブルで一攫千金を狙い、借金が膨れ上がる可能性があります。可能であれば、借金相談も依存症の相談も同時並行で行いましょう。

やすこさんは借金のこと、疲れ切っていたかもしれません。家族が元気になれば、本人支援の糸口が見えてくることもあります。声をかけ、見守りを続けて、家族を支えていきましょう。

ロールプレイを終了し、まとめをする場合

では、最後にロールプレイのまとめをします。7ページをご覧ください。(講師用26ページ)

ロールプレイのまとめをしない場合

本日の内容全てをみなさんの相談場面で実践して頂くのは難しいかもしれませんが、できることから実践して頂けたらと思います。

これでロールプレイを終わります。ありがとうございました。

○ ロールプレイまとめ

<導入>

(講師)

19 ページをご覧ください。ロールプレイのまとめです。

今回のロールプレイでは、ね「ねぎらう」、こ「肯定する」、きょう「共感する」、ひ「秘密は守ると約束する」、ま「まず、じっくり話を聴く」、な「長く関わる」、い「一緒に考える」をロールプレイで実践していただきました。

<本人編>

(講師)

本人編の相談の受け方を振り返ります。

- ・ 本人が依存について相談をする時は、「こんなこと言っても大丈夫かな」「責められないかな」といった不安や恐怖など色々な思いを抱えています。まずは、「話して下さってありがとうございます」とねぎらいます。
- ・ 本人は「やりたい」「やめたい」という2つの気持ちの中で揺れていることが多く、この2つの気持ちがあるからこそそのしんどさに共感し、声かけをします。その中で本人が回復したい思いを持っていることを確認し、そのためにできることを一緒に考えていきます。

<家族編>

(講師)

次に家族の相談の受け方を振り返ります。

- ・ 依存症の人の家族は他人に依存の問題について話すことに抵抗があります。そこで、安心してもらえるように、秘密は守ることを伝えた上で、話を聞いていきます。この時、話すことに無理強いせず、話してもらえた時には、話しにくいことを話して下さったことをねぎらいます。
- ・ 暴力や暴言がひどく、家族に危険が及ぶ可能性が高い場合は、安全の確保が最優先です。避難場所を探すことや通報の必要があると判断される場合は、家族の同意を得た上で、他機関に連絡するなどの対応をとってください。
- ・ 「私の関わり方が悪かったせいだ」などと、自責感を抱いていることもあります。「ねぎらう」「肯定する」「共感する」を使って、家族の気持ちを否定せずに受け止めます。

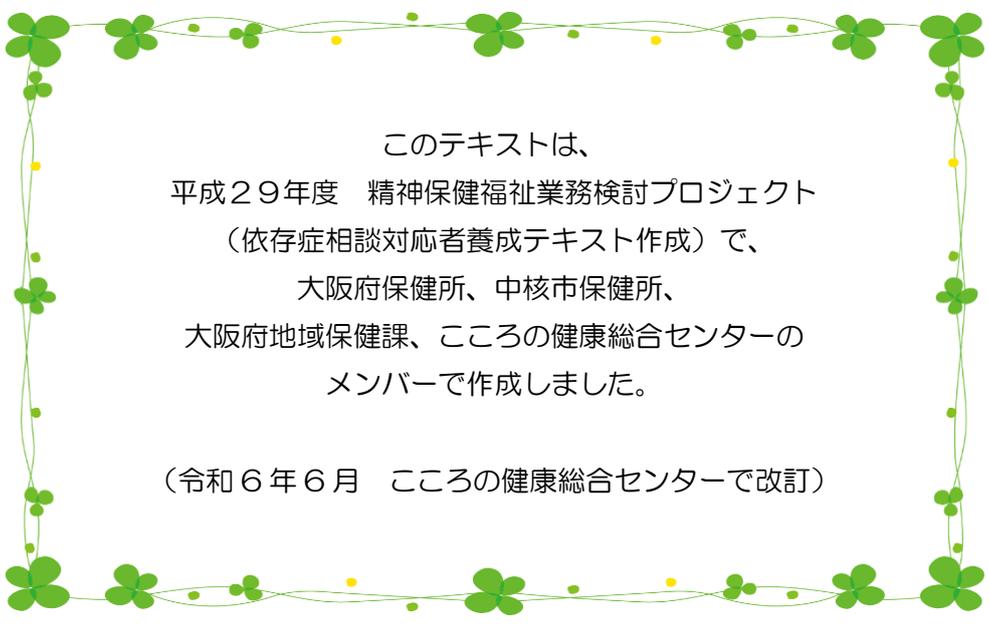
<まとめ>

(講師)

本人・家族どちらにも共通していることですが、依存症の問題は、本人の身体面・精神面の問題だけでなく、家族・職業・人間関係、借金など様々な問題が関係していることも多くありますので、様々な機関と連携して支援にあたる必要があります。タイミングを見て、医療機関や相談機関、自助グループ等を紹介します。初めての場所へ一人で相談に行くのは勇気のいることなので、関係機関の連絡先を伝えるだけでなく、その機関についてわかりやすく説明をしたり、支援者が相談の予約を取ったり、場合によっては同行したりすることがとても大切です。

相談場面で本日の内容全てを実践していただくのは難しいかもしれませんが、できるところから実践していただければと思います。

これでロールプレイを終わります。ありがとうございました。



このテキストは、
平成29年度 精神保健福祉業務検討プロジェクト
（依存症相談対応者養成テキスト作成）で、
大阪府保健所、中核市保健所、
大阪府地域保健課、こころの健康総合センターの
メンバーで作成しました。

（令和6年6月 こころの健康総合センターで改訂）



こころの健康総合センター 相談支援・依存症対策課

☎ 558-0056 大阪市住吉区万代東 3-1-46

平成 31 年 2 月作成

☎ 06-6691-2818 FAX 06-6691-2814

令和 6 年 6 月改訂